

おやま 町議会だより

NO.

181

2025/2月1日号



令和6年11月16日

小山町高校生議会

生涯学習施設指定期間変更に対し附帯決議

- 3 | 各常任委員会
- 4 | 賛否が分かれた議案
- 5 | 一般質問に9人が登壇
- 14 | 小山町高校生議会を開催
- 15 | 令和6年度議会報告会の案内
- 16 | 第15回「わたしのベストスポット」

UD
FONT

発行：
静岡県駿東郡小山町議会

12月定例会

令和6年第6回12月定例会が11月29日から12月13日までの15日間の会期で開かれました。

定例会では、条例の制定・改正4件、工事請負契約（変更）等2件、財産の処分1件、指定管理者の指定管理期間の変更1件、一般会計のほか各特別会計補正予算6件、附帯決議1件等の21議案が提出、審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算 (第6号)

既定の予算から1億6646万7000円を減額し、総額を154億7757万7000円とし、継続費の設定及び繰越明許費、債務負担行為、地方債の追加等するもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

歳入の主なもの

中心経営体農地集積促進事業助成金

1億2037万円の減額

地権者協議会へ直接交付されたことに伴うもの。

地域産業立地事業費補助金

1億5000万円の減額

企業の施設完成が来年度になったことによるもの。

歳出の主なもの

基金管理費

6548万円の増額

特定防衛施設周辺整備調整交付金の確定に伴うもの。

町民いこいの家管理費

4196万円の減額

町民いこいの家あしがら温泉の指定管理移行に伴うもの。

町道整備事業費

4647万円の増額

主に町道新設に伴う物件移転補償を実施するもの。

小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更について

施設の管理運営方針の根本的な検討が必要と判断し、その検討に時間が必要と判断したため、現在の指定管理者の指定期間を1年延長するもので、審議の結果、

賛成多数で可決。

賛成討論

【米山千晴議員】

指定管理期間を延長することについては、真摯に重く受け止めていただく必要があるが、直営に戻すことになれば、逆に町民への不利益をもたらすことにつながる。

【渡辺悦郎議員】

より良い施設の在り方、普段の住民サービスをさらに追求するという点には賛同できる。町民にとってより良いサービスとなることを期待する。

【平野正紀議員】

町民に対して、各種のサービスを維持しなければならぬことが第一である。

反対討論

【藺田豊造議員】

行政の怠慢という感を否めない。中途半端な対応をもって行政運営をする態度こそしつかり改めるべきだ。

【白井光昭議員】

町直営の放棄と責任の所在が不明確のまま議論が提出されている。

【岩田治和議員】

指定管理期間を5年間とした契約をしながら指定管理期間を1年間延長する行為は、商行為として適切でないと思われる。

【牧野恵一議員】

直営にすると、住民サービスが低下する発言自体が認められない発言である。

小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更に対する附帯決議

小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更の際に、当施設の管理に関する基本協定を締結するにあたり、次の項目について特に配慮されるよう強く要望する。

- 1 この度の指定管理者の指定期間の延期に関し、早急に責任の在り方を議会へ報告すること。
- 2 指定管理者募集要項を1か月をめぐりに議会へ報告し、その後の募集に係る事項も決定され次第適宜議会へ報告すること。
- 3 新たな指定管理者の公募、選定及び次期指定管理者への移行を可及的速やかに実施すること。
- 4 継続を依頼する指定管理者に対して働きかけを行い、更なる町民の文化芸術活動の振興並びに福祉の増進を図ること。

以上、附帯決議する。
令和6年12月13日

静岡県駿東郡小山町議会

議案（小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更について）可決後、室伏辰彦議員提出、賛成者6名の発議により提出され、審議の結果、**賛成多数で可決。**

常任委員会 報告

総務建設委員会 委員長 米山 千晴

総務建設委員会に付託された、8議案について、12月5日に審査を行い、原案のとおり可決すべきものとしました。主な内容は次のとおり。

小山町Jークレジット基金条例の制定について

Q Jークレジット事業の見直しは。

A この事業については、二酸化炭素の吸収量をクレジット化し、それを民間の企業等が環境に配慮するということを目的に購入され、その代金が町の収入になり、森林整備等の事業の一部に充てるものです。

令和6年度一般会計補正予算(第6号)

Q 町営学習塾について受講料と事業費が増額となっているが、塾の現状は。

A 受講者は小学生が27人、中学生が35人の合計62人で、スタート時とそ



整備が進む町道2415号線

れほど変わっていません。科目は、中学生は数学と英語、小学生は算数と基礎学力を、水曜・土曜・日曜日と祝日を除いた平日に、1コマ80分の授業を行っています。

Q 観光施設管理運営費

A 近年、金時山のハイキング、足柄峠のサイクリング又はドライブされる方が増加傾向にあるため、足柄峠に設置してある2つの看板等の修繕、撤去が必要と考え、増額補正をするものです。

委員会終了後に、菅沼地域優良賃貸住宅整備事業箇所、町道1691号線の町道認定箇所、町道2415号線他1路線道路改良舗装工事箇所を視察しました。

について修繕料増額の内容は。

A 近年、金時山のハイキング、足柄峠のサイクリング又はドライブされる方が増加傾向にあるため、足柄峠に設置してある2つの看板等の修繕、撤去が必要と考え、増額補正をするものです。

文教厚生委員会

委員長 小林 千江子

文教厚生委員会に付託された、4議案について、12月10日に審査を行い、小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更について及び令和6年度一般会計補正予算(第6号)の2議案は「賛成少数」で否決すべきものとし、その他2議案は、原案のとおり可決すべきものとしました。主な内容は次のとおり。

小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更について

Q 今年度中に公募選定ができなかった理由は。

A 今回の指定管理者の選定に当たり、庁内での協議の結果、以前のような活気がなくなっているとか、自主文化事業がマンネリ化しているなどの利用者からの声もあることから、現状を変えていくべきという方向付けがされました。これには当



造成が進む小山消防署庁舎建設

初予定していたスケジュールでは、公募期間が短く、広く事業者からの提案を求めることは難しいことから、募集要項などの内容を検討する時間をいただきたく、今回延長の措置をするものです。

Q 指定管理期間を延長する場合、今の指定管理者との調整はどうなっているのか。

A 10月以前の話し合いの中では、公募する方針を伝え、準備をしていたべくお願いをして

Q 町民への説明が必要だと思うが。

A 広報誌やホームページ等で結果について周知を図るように、誠意を持って努めてまいりたいと考えています。

委員会終了後に、小山町総合文化会館おもしろ駐車場建設工事箇所、小山消防署庁舎建設事業箇所を視察しました。

賛否が分かれた議案

○…賛成 ×…反対 —…議長は採決に加わりません
 ※…可否同数のため議長裁決

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			石原和美	池谷元	平野正紀	牧野恵一	白井光昭	小林千江子	室伏辰彦	鈴木豊	藺田豊造	渡辺悦郎	米山千晴	岩田治和	遠藤豪
12月定例会															
議案第75号	財産の取得について (令和6年度小山町役場本庁舎備品購入事業(1階))	可決	×	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	※
議案第76号	工事請負契約(変更)の締結について (令和6年度防災・安全交付金事業 町道2415号線他1路線道路改良舗装工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
議案第81号	小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更について	可決	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	—
発議第7号	議案第81号小山町生涯学習施設の指定管理者の指定期間の変更に対する附帯決議	可決	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	—
議案第84号	令和6年度小山町一般会計補正予算(第6号)	可決	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	—

反対討論
【牧野恵一議員】
 債務負担行為とは、今後、複数年にわたって町民が返済義務を負うことを認めることであり、議会において、事業の内容、返済期間、借金の限度額を検討する必要がある。30年間余にわたって債務を負うというのに、限度額を示さないということはありません。
 ※その他、石原和美議員から反対討論がありました。

議案第84号
 令和6年度小山町一般会計補正予算(第6号)

反対討論
【牧野恵一議員】
 購入業者を選定するのに、最も一般的な競争入札ではなく随意契約で行われている。
【藺田豊造議員】
 財政の運用には最少費用で最大効果を求められたいながら、どこにそれを示すものがあるのか。
【平野正紀議員】
 設計の段階からこの業

議案第75号
 財産の取得について
 (令和6年度小山町役場本庁舎備品購入事業(1階))

賛成討論
【米山千晴議員】
 地域優良賃貸住宅の債務負担行為については、グランファミリア落合での実績がある。限度額が明示されていないことだけで反対することはできない。人口減少が進む中で、地域優良住宅に多くの子ども達が住み、賑わいのある賃貸住宅の整備をしてもらいたい。

賛成討論
【小林千江子議員】
 リニューアル工事の進捗、リニューアルするデザインなどに合わせて、椅子やテーブルなどの備品を随意契約で購入することは適当である。

者が取り扱う備品ありきで本事業が進められている。

一般質問に9人が登壇 町政のここを問う

一般質問 (一括)



鈴木 豊
(新生会)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



建設について調査研究予定の小山町役場本庁舎

令和7年度予算編成に対する町長の政策方針は 総合計画基本目標に沿った予算編成とします

Q 町長にとって来年度、2回目の事業予算となる。どのような政策方針をもって、予算編成をするのか。

A 町長 町長にとって来年度、2回目の事業予算となる。どのような政策方針をもって、予算編成をするのか。また、今後、将来に向けての事業は、まず財源の確保が必要と思うのでその点の考えを伺う。

Q 当初予算編成に向けて各種政策事業を示されているが、重大事業について、何点が詳細を。

A 町長 令和7年度予算は、第5次小山町総合計画の前期基本計画の最終年度となり、これまで実施した様々な施策の成果を的確に評価し、幅広く予算に反映していく必要があります。

基本目標に沿って特に重点的に実施していくものは、小山消防署新庁舎の建設、健康インセンティブ事業、町営温水プール

の整備、菅沼地区で組合施行の土地区画整理事業などです。

Q 今後の財源確保について、どのような形で予算に明示していくのか。

A 町長

様々な角度から検討することが重要であると考えています。三来拠点事業の成果により、固定資産税は近年10年間で最高額の30億円を見込んでいます。

一方、特定目的基金の残高は、減少しています。国の交付税措置のある事業や起債、各種の補助事業などを積極的に活用することで、財源の確保に努めます。

Q 今後、庁舎建設について方向性を付けると以前発言していた。視察した他の市町村では5年や10年かかると言われている

た。町も本格的に検討していただきたいので、調査研究費など新年度予算に取り組み考えがあるのか。

A 町長

現庁舎の現状や課題を整理し、検討委員会などを開催して令和7年度中には、ある程度の方向性が示せるように進めたいと考えています。

Q 小山町にとって、最大の課題となっている人口減少対策について、宅地造成や人口移住などに對して、どのような事業を予算に取り入れていくのか。

A 町長

ハード事業は、須走日向地区や用沢大畑ケ地区、菅沼沖田地区の宅地造成事業等に対し、予算計上します。また、ソフト事業は、今年度、一定の成果があった、移住・就業

支援金や空き家活用・流動化促進助成金事業等に対し、予算の計上を行い、人口減少対策に努めていきます。

Q ふるさと納税寄附について、新たな返礼品の開発などが見受けられ、公社の立ち上げなど努力しているが、7年度予算の見通しはどの位か。

A 町長

現段階では、まちづくり公社での運営及び新たな返礼品を開拓することによる増額などを見込み、10億円以上を予算として見込んでいきたいと考えています。

一般質問 (一括)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



石原 和美



今年度で閉園となる、するがおやまこども園（写真は第1園舎）

Q 人口減少時代における公共施設の更新問題について

A 集約化や複合化等、多角的に検討を進めます

「小山町公共施設等管理計画」の中では、今後40年間、今ある施設を修繕し、維持管理していくには、約103億円不足すると推計されている。

建築や改修する時点で利用できる補助金や有利な起債などを活用します。

その目的や関連する施設の状況などにより、町の負担を最も少なくする方法を考えます。また、将来を見越した基金の積立、町民や利用者のニーズに沿った機能や、施設のスリム化など、多角的に検討を進めます。

それを建設する今回の更新事業は慎重に判断すべき。なぜ令和9年に完成とし、急いで進めるのか。

Q その財源不足解消のための具体的方策は。

Q どの施設も長寿命化や改修、修繕にかなりの費用が必要。そんな中で新たな施設の建設は充分検討し、慎重に判断すべきでは。

Q 5つの学校プールを廃止し、新たに温水プールを建設は、第一番目です。私の政治公約ですから必ずやるという決意を持って進めています。

A 企画総務部長

民間活力の利用や公共施設の集約化や複合化、

A 総務課長
新たな公共施設建設は、

Q 5つの学校プールを廃止し、新たに温水プールを建設は、第一番目です。私の政治公約ですから必ずやるという決意を持って進めています。

Q 防災教育について

A 地域の防災力向上に取り組んでいます

防災教育の目的は、災害対応能力の向上にあり、自助の原則の徹底に基礎をおいた主体的姿勢の形成にある。今後の大災害に備え、率先して行動する防災リーダー育成のための取り組みが必要と考える。

A 危機管理局長
静岡県ふじのくにジュニア防災士認定講座は、地域の防災活動に参加し地域の防災リーダーとして期待される人を養成するための制度で、これまでに883人が認定を受けています。

A 危機管理局長
広報おやま、講座状況の放送などを通じ、皆様が気軽に依頼できるよう努めます。

Q 年1回の防災講演会を平日夜から、参加しやすい土日の昼の開催に変更しては。

A 危機管理局長
講師・関係者と調整を行い、土日の開催も検討します。

Q ふじのくにジュニア防災士認定講座の目的、内容、認定人数を伺う。

Q 防災出前講座の町民へのさらなるアピールが必要では。

A 危機管理局長
地域の実情に合う訓練内容を立案し、より防災に興味をもつていただく

一般質問
(一括)



池谷 元
(治政会)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



この数年で農業機械は約15%高騰しています

Q 農業従事者への支援について
A 農業従事者に対する支援の充実を図ります

現在、農家が生産している米・野菜や加工品は、農業協同組合・道の駅・ファーマーズマーケットや個人で販売している。近年は、世界情勢、ロシア・ウクライナ問題や中東問題、さらには円安によりエネルギー価格が高騰し、肥料は約30%、この数年で農業機械は約15%高騰している。それだけでは無く、いろいろ生産には必要なものが値上りしている。

米や野菜類は価格転嫁が難しくこのままでは農家を続けることが困難だと考えます。そこで次の点について伺う。

Q 物価高騰に対して認定農業者を含めた農業従事者にさらなる支援が必要だと感じますが、町の考えは。

A 経済産業部長
町では農業の持続的な発展のために、農業経営の安定を図る対策や農業の生産効率を高める農地の基盤整備、認定農業者の農業機械取得に対する補助、漬物製造業の許可取得に対する補助、環境への負荷低減の取組としてエコ栽培米への支援や鳥獣被害対策として防護柵の設置補助など、農業従事者に対する各種支援を実施しています。今後、現在進めている「地域計画」の作成に当たり、地域から出された課題を踏まえ、地域おこし協力隊の受入れや農家の後継者など若い世代を対象とした、農作業・スマート農業の講習会を開催するなど、農業の多様な担い手

の育成を進めていきます。また、地域の共同活動に使える交付金の活用や集落営農の組織化・法人化に向けた研究・取組を進め、個人では採択が難しい農業機械取得に対する国の補助制度を活用し、農業従事者への支援をさらに進めます。

Q 農作業やスマート農業の講習会を若い世代にどの様にPRするのか。

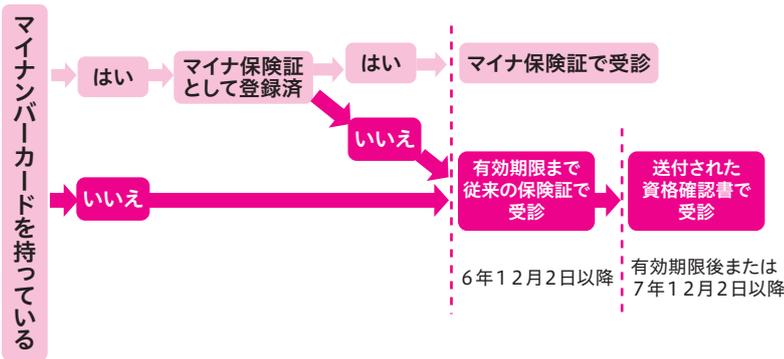
A 農業振興課長
町公式LINEやInstagramでの告知や若い世代が参加しやすい週末の開催、参加できない方に向けて講習会の様子を撮影しYouTubeで配信するなど、多くの方々に興味を持ってもらい、学んでもらえるよう工夫していきます。

Q 認定農業者の農業機械購入の補助金のさらなる拡充の考えは。

A 農業振興課長
農地集積の拡大を要件に追加し、助成限度額を引き上げるなど、制度の拡充を検討しています。また、集落営農の組織化・法人化の取組を支援し、補助率の高い国の補助制度の活用を推進します。

保険証新規発行終了時の対応

一般質問 (一括)



YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



渡辺 悦郎

6年12月2日以降もマイナンバーカード作成やマイナ保険証登録ができます

Q マイナ保険証の取り扱いについて

A マイナ保険証・マイナンバーカードの周知に努めます

令和6年12月2日から新たに健康保険証の発行が行われなくなり、国によりマイナ保険証の使用が勧められている。

町民が医療機関等で受診する際のマイナ保険証の有無により対応が変わってくる、町の対応と推奨について伺う。

A 住民福祉部長
保険証としてだけでなく運転免許証との一体化など、利活用する場面が増えていくと考えます。

Q マイナ保険証の紐づけについて。
A 住民福祉部長
マイナ保険証の利用登録について周知を図るとともに、マイナンバーカード

の受取りの際に保険証登録の支援を行っていただきます。

Q 送付された「資格情報のお知らせ」について。
A 住民福祉部長
「資格情報のお知らせ」は、マイナ保険証を持つ方には、マイナ保険証を持っていない方に交付するもので、現行の保険証の代わりに使用するものです。

Q マイナ保険証を作らなかった場合の「資格確認書」について。
A 住民福祉部長
「資格確認書」は、マイナ保険証を持っていない方に交付するもので、現行の保険証の代わりに使用するものです。

Q 国際交流を図るために幼少期からの英語教育の推進は

A 英語教育の推進とALITの積極的活用を行います

町は英語教育を推進するために外国語指導助手(ALT)を受け入れている。当初は法人からの支援もあり2名からのスタートであった。グローバル化する時代において言語教育や文化等も学ぶことで、子どもたちに夢と希望を与える素晴らしい事業である。

本年度からは国際交流員(CIR)も活躍している。

力・判断力・表現力等の育成を進めていきます。

ドバ町との関係を築いていきます。

Q 増員されたALITでどのような教育を進めていくのか。
A 教育長
今後の英語教育において、基礎的・基本的な知識・技能とそれらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考

Q フィリピン共和国コルドバ町と国際友好都市を締結したがどのように交流を深めていくのか。
A 企画総務部長
教育分野で力を入れるほかにも文化、貿易、観光、環境などの分野においてもフィリピン共和国コ

ルダバ町との関係を築いていきます。

今後、ALITの派遣のみならず、小山町国際友好協会と共に、人との交流や文化の交流などを推進していきたいと考えています。

一般質問
(一括)



岩田 治和
(町民本位の会)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



市町	人口千人当りの職員数	職員数
小山町	12.0人	212人
御殿場市	7.2人	612人
裾野市	6.4人	320人
長泉町	5.3人	231人
清水町	6.1人	193人
県平均	8.7人	-

令和5年度近隣市町の職員数の比較 (令和5年 県統計より)

本町における行財政改革としては、令和2年から令和6年までの5年計画として第10次小山町行政改革大綱が制定されている。この中では、組織の改革と人材育成として定員の適正化計画を着実に実施し、定員管理の適正化を図ると宣言している。

しかし、本町の職員数の現状を見ると令和5年度の県統計資料では人口1000人当たりの比較では、近隣の市町は5〜6人程度であるのに対し、本町は12人と倍以上もの職員数である。さらに、県内35市町の平均8・7人を大幅に上回る状況である。

第10次行政改革大綱に係る取り組みとして組織の見直し、適正、人件費等について検証を行っているが、その評価として

は、いずれも「実施または一部実施」の評価結果として、職員数の数は近隣市町や県平均を大幅に上回り、悪い点については判断していない状況にある。

また、男女共同参画、指定管理者制度の活用、広域行政の推進等は積極的な検討を進めていない状況と考える。

Q 近隣市町の職員数の比較をどのように考えるのか。

A 企画総務部長
第7次小山町定員適正化計画における職員数については、類似団体と比較してもおおむね適正であると考えています。

本町の類似団体と部門別に比較した特徴は、総務部門、土木部門、保育所・幼稚園・教育一般部門において職員数が多く

なっています。その理由は、定住移住促進と三来拠点事業を推進していること、人口規模に対し町域が広く、管理する町道、河川、森林が多いこと、平成22年の豪雨災害以降治山治水事業を重点化していること、保育・教育の質の均一化を図るため、町営こども園を配置していることなどがあります。

Q 道の駅等施設の外部に業務委託による職員減を配慮しているのか。

A 企画総務部長
業務が複雑化、多様化している中、外部委託や行政のスマート化を進めること、行政経営の効率化でDXなどを進めることが職員数の減少につながると考えています。

Q 人口減少に伴い職員数も減らすべきと考えますが。

A 企画総務部長
来年度第8次定員適正化計画を策定することとしており、社会情勢の変化、特に職員の定年延長及び年齢構成の変化、少子化への対応を踏まえた策定となることから、慎重に検討を進めていきます。

Q 町職員数の削減はできないのか
A 定員適正化計画に基づき定員管理を行っています

一般質問
(一問一答)



パパも子育て奮闘中！（パパママ学級の様子）

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



平野 正紀

Q 一子ども家庭センター設置による子育て支援の充実を

A 安心して子育てができる相談支援体制をつくります

令和7年度に設置する子ども家庭センターについての町の考え方、町民サービスの向上等について伺う。

Q 設置方法は一体型か分離型か。

A 住民福祉部長

子ども未来課と健康増進課の2課での構成を考えています。

家庭支援員を増員する予定です。

Q 母子保健業務の専門職として助産師任用についての考えは。

A 住民福祉部長

母子保健業務の充実を図る観点から有効だと考えられます。

手続き等、どのような住民サービス向上が期待できるか。

A 住民福祉部長

児童福祉と母子保健の両機能を組織として一体的に運営し、関係する専門職で各種課題に対応することから、個々の意見や希望を確認し酌み取りながら関係機関との調整等を行い、必要なサービスにつながる中心的な役割を担えます。

Q 子ども家庭センター設置の狙いとメリットは。

A 町長

家庭の状況に応じた支援を切れ目なく対応するなど、相談支援体制の強化を図ることができます。

Q どのようなスタッフを配置予定か。

A 住民福祉部長

センター長、統括支援員、社会福祉士、保健師を配置するほか、子ども

Q 町民の各種の申請や

に上昇傾向・上昇機運を維持することが重要であると考えています。

Q 町民意識調査から見える町の施策の満足度は

A 施策推進の重要な指標になります

毎年実施している町民意識調査（町民アンケート）の分析結果をどう検証して施策に反映しているか、町が目指す町民満足度はどのくらいかを問う。

的に400人以上の回答が必要とされ、統計的に必要な件数は確保できていると考えています。

Q 施策全体の満足度は55%、今後の定住意向は82%である。町が目指すこれらの満足度の数値目標は。

A 企画総務部長

施策全体の満足度は、引き続き短期的・中期的

Q 自由記載の項目に、どのような意見が多く寄せられたか。

A 企画総務部長

20代30代は、子育て環境、40代50代は、町政全般、60代以降は高齢者施策に関するものです。

Q 回収率をどう捉えているか。

A 企画総務部長

回収率は33%で、一般

Q 調査の分析結果を施策や予算にどう反映しているか。

A 企画総務部長

令和2年度までの調査を分析し、第5次総合計画前期基本計画に反映し

Q 企画全体の満足度は、引き続き短期的・中期的

A 企画総務部長

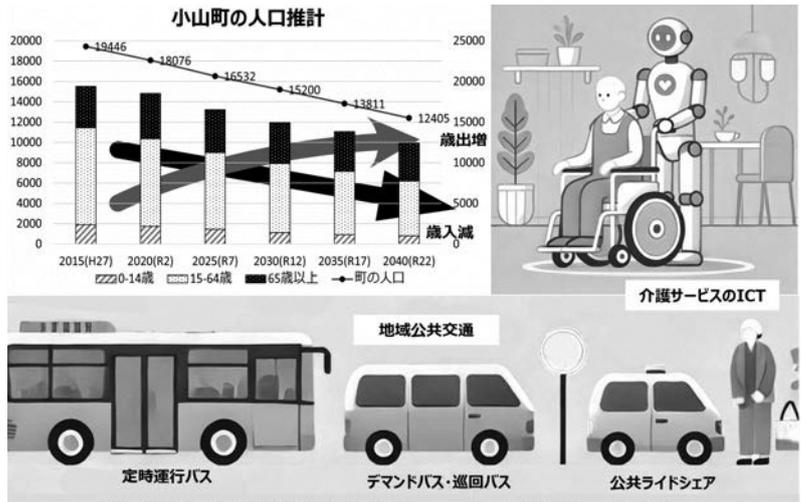
施策全体の満足度は、引き続き短期的・中期的

一般質問
(一括)



白井 光昭
(町民本位の会)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



少子高齢化により歳入減、歳出増……> 町財政は大丈夫か？

Q 人口減少と少子高齢化社会における歳出増加について
A 各種事業により、町の財政負担の抑制に努めます

我が国では人口減少と少子高齢化が急速に進行し、2040年頃には65歳以上の高齢者が全人口の3割を超えることが見込まれています。

Q 介護サービスや医療費、介護施設への給付額、認知症患者支援などの社会保障費増加と担い手不足への対応策を伺う。

A 住民福祉部長 介護サービスや医療費、介護施設への給付額、認知症患者支援などの社会保障費増加と担い手不足への対応策を伺う。

A 住民福祉部長 子育て支援では、町独自の施策として、既に実施した小中学校での給食費無償化や、今年度から新たに実施したこども園での第2子保育料無償化など、各種様々な子育て支援策に取り組むことで、保護者への経済的支援に努めていきます。

小山町の人口も令和6年10月には1万7千人を切り、第5次総合計画の目標を大きく下回りました。2035年には1万4千人を下回り勤労世代(15-64歳)が7800人程度、0から14歳が1100人程度になると推計されます。

Q 高齢化と人口減少による公共交通の維持・強化・運営コスト増への対応策を伺う。

A 住民福祉部長 特定健診等各種保健事業について、周知に努めるとともに個別に効果的な受診勧奨などを行い、町民の健康増進と医療費の抑制を図っていきます。

A 未来創造部長 未婚率抑制では、町が独身男女を対象にイベントによる「出逢いの場」の提供を行います。さらに、県が主体となる「ふじのくに出会いサポートセンター」への会員登録を啓発し、婚姻者数の増加に努めていきます。

この人口構造の変化は、歳入減と社会保障費、公共交通、医療・保健事業、子育て支援などでの歳出増加が予測され、町財政の圧迫が予想されます。そこで、次の点について町の対応策を伺います。

A 企画総務部長 デマンドバスに集中した需要を分散することを目的に、令和6年8月から11月までの4か月間、巡回バスの実証実験を実施しました。

Q 子育て支援と未婚率抑制について対応策を伺う。

A 未来創造部長 未婚率抑制では、町が独身男女を対象にイベントによる「出逢いの場」の提供を行います。さらに、県が主体となる「ふじのくに出会いサポートセンター」への会員登録を啓発し、婚姻者数の増加に努めていきます。

また、町が運行主体と

一般質問
(一問一答)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



小林千江子
(新生会)



御殿場市では部活で和太鼓が人気を博している

Q 地域に即した部活の地域移行を

A 子どもたちが生き生きと活動ができる環境を整備します

従来、中学校の部活は

学校主体で行われていた。しかし少子化による生徒数の減少、それに伴う部活動の縮小化、先生の働き方改革などから

国は部活を学校主体の活動から地域の活動へと移行させる事を決めました。

Q 野球・サッカー・吹奏楽の合同部活動も試行的に取り組み始めました。現状の分析と今後の方針を伺う。

A 教育次長

現在、休日のみ3校合同で部活動を実施しています。3中学校合わせても人数の揃わない状況、また、平日は異なる部活動に参加しているなどの課題があります。平日の合同部活動については、3つの中学校の日課・部活動実施日の統一化等を解決していく必要があると考えます。

A 教育次長

楽器の調達については、家庭に眠っている楽器の寄附等の協力を検討しています。生徒への楽器の貸し出しのルール作りも必要であると考えます。

A 教育次長

部活動地域移行の進捗状況をみながら必要に応じて適時予算措置を行います。

Q 地域移行にはメリットもデメリットもあります。町はどんな地域移行を目指し取り組みようとして

いるのか。

A 教育次長

地域移行による選択肢の広がりや専門的な指導の充実の利点と、指導者の確保上の課題を把握しています。教員の勤務時間終了時刻である16時半までの「学校での活動」とそれ以降の「地域での活動」に分けて整理する必要があります。

Q 地域移行の為に立ち上げたNPO法人おやまアレグの役割と先生との関わり方は。

A 学校教育課長

勤務時間終了後も部活動の指導を希望する教員については、兼職・兼業によって地域団体の指導者として活動することも視野に入れ課題の整理を行いたいと考えます。

Q オリパラレガシーを活かした自転車部、ゴルフ部、富士山を広く学び富士登山を楽しむ富士山部など町の特色を活かした活動を取り入れることで生徒の選択肢を広げ、更には町の魅力化にも繋がると考えるが。

A 学校教育課長

平日の16時半以降や休日、新たな団体が活動しようとするならば、NPO法人おやまアレグと連携して、町ができる支援について考えていきます。

Q 先生が兼職・兼業するにしろ、外部の指導者が活動するにしろ人件費など予算が必要となりますが町の考えは。

Q 試行的に行われている合同部活動の吹奏楽が大変な人気を博している一方で楽器の調達が難しく平日に練習ができない子もいるようです。その対策は。

一般質問
(一問一答)



牧野 恵一
(町民本位の会)

YouTubeにて
この一般質問
の様子がご覧
いただけます



温水プール計画地 (阿多野)

Q 温水プール計画の問題点を質す
A 各小学校のプールを集約化しプール環境を充実します

町内5小学校のプールの維持管理費は年間191万で、古くても問題なく利用できている。

町は温水プールの建設は法的に決まったことだと説明をした。

企画総務部長

プール機能は、必要最小限の規模と考えていますが、今後も引き続き検討していきます。

生活道路の整備や水道管の耐震化を望む声が大きい。温水プールは行政が義務として行うサービスのレベルを超えている。

Q 建設費15億円、毎年の維持管理に6千万円を投じて新しい温水プールを造ろうとする発想が理解できない。

Q 主権者である町民の声を聴かずに進めるのか。

A 企画総務部長

意見交換会では、プール設置に向けた基本計画(案)を説明し、構成員の方々から、自由意見を述べてもらい、傍聴者からも意見は聞きました。次回の説明会も同じように意見は聞いていきます。

A 企画総務部長

また、生涯学習センター付近に温水プールができれば、御殿場市の施設に行くより移動時間は少なくなり、町の施設なので授業を優先しての利用調整が可能となり有利であると考えています。

Q 町長は反対の声が大きいと認識したら、プール計画を撤回する考えは。

A 町長

温水プール建設事業は、私のマニフェストの一目一番地にお示しした子育て教育の施策であり、

A 企画総務部長
町の子どもの達のために、水泳が充分にできる環境を整えることが最も重要であります。温水プールは、天候に左右されず年間を通じて利用できることから計画通りに授業が可能になります。

幼児用プールを造らないのは、車を運転できる保護者がいるはずなので御殿場へ行ってもらう。

御殿場市は財産区が赤字を補填している。小山町には財産区がないので赤字は町民が負担することになる。

町民も利用できる施設とすることで、スポーツ環境の充実と健康づくりを推進することも目指しています。

水泳授業の1単位は10分を考えている。御殿場のプールを使うと15分かかってしまうので小山町に必要だ、という主張である。

Q 利用者を一日200人と見込んでいるが過大で収入不足にならないか。

A 企画総務部長
近隣のプールの状況も調べ、御殿場市や山北町からの利用者も見込んで200人としました。

「百人百様」町民の皆様には、それぞれの意見等を持っていただいています。今後も多くの方に、この施策の必要性を理解していただくよう努めていきます。

Q 余りにご都合主義だ。

令和6年 小山町高校生議会を開催

11月16日(土)に、小山高校から14名の生徒が参加して、今回で9回目となる小山町高校生議会を町当局と共同開催しました。

高校生にも町政や町議会に関心を持ってもらうことを目的にスタートしたもので、当日は、富原悠太議長が進行しました。緊張した面持ちの中、日常生活に関する課題や、町の将来を見据えた提言など4問が堂々と質問されました。

進行
富原 悠太 議長



災害時の避難誘導について

梶本 真那登 議員
原田 和奏 議員
徳田 唯花 議員



Q 小山町は山に囲まれ、土砂災害が発生する危険性が高いと思う。避難場所の位置を小山町に住んでいる方々や、小山町に通勤通学、観光等で訪れている方々にも、解り易くするべきだと考える。

A 誰もが無料でダウンロードできる「静岡県防災アプリ」では、操作位置から自動で危険箇所、指定避難所の確認ができます。その他町の情報発信ツールからも防災を含めた様々な小山町の情報内容を確認できることから、その周知や、出前講座による情報発信に取り組んでいきます。

人を呼び込むような政策について

平井 凜華 議員
長面川 千尋 議員
日比野 早希 議員
鈴木 志緒理 議員

Q 子育て世代や若者に小山町のことを知ってもらうことが大切です。子育て世代や若者が小山町に遊びに行ってみたくて思えるような施設ができると良いと考える。

A 豊門公園、金時公園、須走なかよし公園、足柄ふれあい公園など、広く安全な公園を整備するとともに民間の力を活用し、イベント開催など楽しんで過ごせるような取り組みを進めています。

また、アーバンスポーツパークの検討や足柄S A周辺では複合観光施設の開発を進めています。



小山町の観光産業の発展について

吉村 侑弥 議員
高橋 希 議員
佐々木真之介 議員

Q 社会や文化の変化に合わせて、小山町のゆるキャラのデザインやコンセプトを更新することで、より多くの人々に共感を得やすくなるのではないかと。

A 小山町のキャラクターである足柄山の金太郎

郎は、町の英雄であり、町民が誇りにしている伝説です。町のシンボルとして町民に元気を与え、町内外で開催される様々なイベントなどで多様な活躍をし、一定の認知度と人気があります。今後、多くの方に共感してもらえるよう少し可愛くして町をPRしていくことも考えていきます。

共生することができるといえます。障がいのある方が過ごしやすい環境づくりのため、お互いに触れ合いやすい活動を増やしてはどうか。

A 町では、障がいのある方に対する誤解や偏見を取り除くため、広報誌等を通じて正しい知識の普及と権利擁護のための啓発を行っています。

障がいのある方の社会参加の機会を拡充するため、障がい者団体や地域住民、企業、行政などの地域社会全体で継続的な活動や協議ができる体制の整備に取り組んでいきます。

障がい者と地域の関わりについて

渡邊 瑛太 議員
勝間田 梨那 議員
近藤 志音 議員

Q 地域の方が障がいのある方への理解を深め、



令和6年度

小山町議会報告会

のご案内

2/7 **金** 19:00
20:30



小山町総合文化会館 菜の花ホール

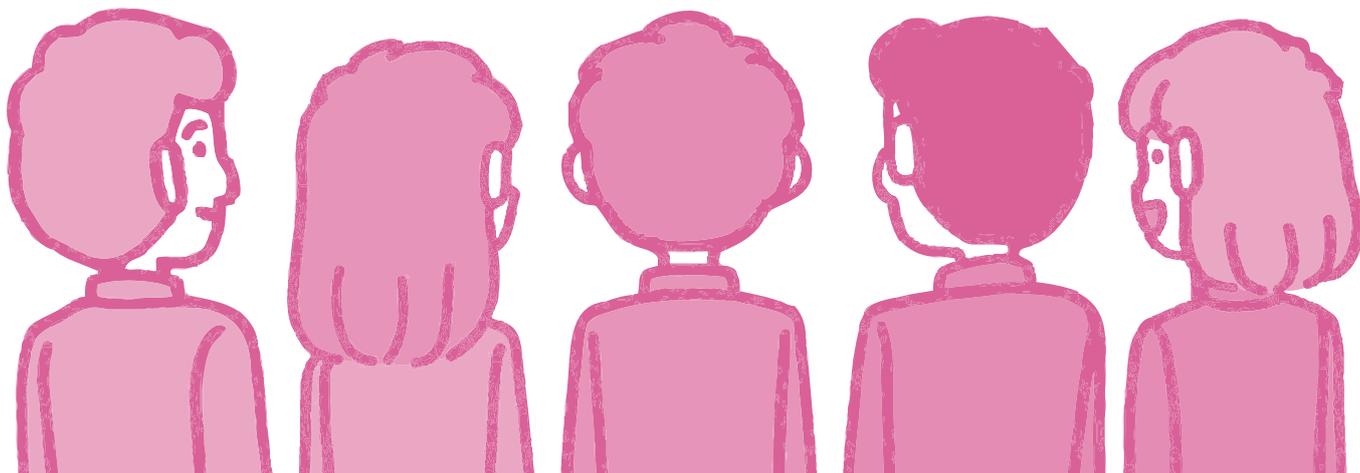
報告事項

ライフラインを守る(上水道耐震化計画について)
小中学校のデジタル化

意見交換会

こども・子育てについて

意見交換会は、幅広い世代の方から御意見を頂戴したいと考えていますので、お誘い合わせの上、お気軽にお越しください。



わたし①のベストスポット

議員本人が町民の皆様にお勧めしたい、町内のここぞと思う場所を紹介します。

森村橋



私がお勧めする場所は森村橋です。

森村橋は、富士紡績創業10周年の明治39年に竣工した鋼製トラス橋です。元々は富士紡績第一第二工場の引き込み線の鉄道橋として活用されてきました。

橋名の由来は、富士紡績創業や発展に功績のある6代目森村市左衛門の功労を後世に伝えることを目的にその名前がつけられました。平成15年に小山町に移管された森村橋は建設から110年以上が経過し、老朽化により腐食が激しいことから平成29年から復原工事に着手し、令和元年に完成しました。国の登録有形文化財に登録されており、土木遺産『鉄(かね)の橋百選』にも選定されており、令和2年には土木学会の『田中賞』を受賞しています。復原された森村橋には照明が設置されており、季節ごとのライトアップが鮮やかに光ります。



夏と冬には地元有志によるイベントが開催され、12月のクリスマスには、橋の上にツリーが展示され、多くの方々が見学に來られます。森村橋は、小山町を代表する文化財だけでなく地域活性化や観光振興のシンボルとしても位置付けられています。

見学は、天気の良い午後と夜間がお勧めです。(紹介者 池谷元)

議会を傍聴してみませんか

本会議は、議場内にある傍聴席で傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議の当日に、傍聴席入口で、住所・氏名を書いてから傍聴ができます。傍聴の定員は29名です。

3月定例会の開催予定

2月25日【火】開会

2月27日【木】町長提案説明

3月4日【火】予算補足説明

3月6日【木】予算質疑

3月7日【金】一般質問

3月10日【月】(予備日)一般質問

3月12日【水】総務建設委員会

3月18日【火】閉会 文教厚生委員会

委員長報告・討論・採決等

いずれも、開会時間は10時の予定です。

決定次第、無線放送等でお知らせします。

議員研修報告

【県外行政視察】

宮城県岩沼市・福島県南相馬市・茨城県北茨城市・茨城県大子町

今回の視察研修では、東日本大震災で被災した地域を中心に、宮城県岩沼市、福島県南相馬市、茨城県北茨城市、そして茨城県大子町の4か所を訪れ、それぞれの復興や地域活性化の取組について学びました。

宮城県岩沼市

千年希望の丘

岩沼市では、「千年希望の丘」を訪れ、当時市長であった井口氏から震災時の状況や復旧・復興の取組についてお話を伺



復興への筋道を学ぶ

いました。特に「自助・共助」の重要性や、コミュニティ単位で復興を進めることの意義について示唆に富む助言をいただきました。

福島県南相馬市

消防・防災センター

南相馬市では、消防・防災センターを訪れ、建設についての説明を受け、施設の見学を行いました。

地域の特性や実情に応じた防災施設の建設がいかに重要であるかを再認識しました。

茨城県北茨城市

グランピング施設

北茨城市では、自然環境を活かしたグランピング施設を視察しました。

地域活性化の一環として注目されるこの取組は、観光資源の活用と地域経済の振興に貢献している点が印象的でした。

視察を通じての感想 今回の4か所の視察研修は、現在小山町が直面する課題にも通じる内容であり、大変有意義なものでした。

大子町では、総二階建ての木造役場庁舎について説明を受け、施設を視察しました。

茨城県大子町

木造新庁舎

地域の資源を活用しつつ、新たな庁舎建設を通じて地域に根ざした行政運営を進める姿勢が伺えました。

短期間での研修スケジュールでしたが、充実した学びがあり、得られた知見を今後の町政運営に積極的に活かしていきたいと思えます。(記 渡辺悦郎)



小山町議会HPはこちら

- 編集委員：渡辺悦郎
- 委員長：小林千江子
- 副委員長：池谷元
- 委員：平野正紀
- 委員：白井光昭
- 委員：岩田治和